



2022年11月24日

報道関係各位

株式会社エッチ・ケー・エス

## バッテリー交換式 EV 小型トラックを用いた配送実証開始について

株式会社エッチ・ケー・エス(本社:静岡県富士宮市、代表取締役社長 水口大輔、以下「HKS」)は、昨年環境省より公募・採択された「令和3年度バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業」(以下、「本プロジェクト」)において、共同実施企業と開発したバッテリー交換式小型EVトラックとそれらに搭載するバッテリーパック、バッテリー交換ステーションを用いて、今月よりファミリーマート店舗向けの配送実証を開始しました。

本プロジェクトは、伊藤忠商事株式会社を代表企業とし、共同実施企業である、いすゞ自動車株式会社、JFE エンジニアリング株式会社、株式会社ファミリーマートを含めた4社と共に取り組んでいます。この度、開発してきたバッテリー交換式小型EVトラック、バッテリーパック及びバッテリー交換ステーションについて実証を実施できる目途が立ったことから、開発したバッテリー交換式小型EVトラックを実際にファミリーマートの配送車として運用する配送実証の段階へと移行しました。2台のバッテリー交換式小型EVトラックによる配送実証を、バッテリー交換ステーションを設置した埼玉県三郷市にあるファミリーマート三郷中央定温センターを拠点に、埼玉県三郷市と八潮市を中心とするファミリーマートの延べ約80店舗に向けた、おむすびや弁当、サンドイッチなどの中食を中心とした商品の1日3便の店舗配送コースにて実施します。本バッテリー交換式小型EVトラックは、バッテリーパックを約3分で交換可能な為、従来長い時間を要していた充電時間が制約とならずに配送に使用する事ができます。また、軽油使用の内燃車比較で1台当たりのCO2削減量は6.1t/年になると試算しており、さらにバッテリー交換ステーションの屋根に設置した太陽光パネルを用いて再生可能エネルギーとの連系につきましても検証を行う予定です。

HKSは、今回の配送実証を通じて品質・性能・安全性を確認、更に高めることで早期実用化を目指します。日本における商用車のEV化を促進することで物流網の脱炭素化に貢献、脱炭素社会・持続可能な地域社会の実現や、地球環境への負荷軽減に向けて今後も貢献してまいります。

添付資料: 各パートナー企業の役割と配送実証概要

関連写真(バッテリー交換ステーションとバッテリーパック、バッテリー交換式小型EVトラックと太陽光パネル)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社エッチ・ケー・エス

TEL:0544-29-1111

【添付資料】

〈共同実施企業の役割と配送実証概要〉

バッテリー交換式小型 EVトラックの開発		
開発企業	いすゞ自動車(株)	
車体	1号車	2号車
L x W x H	7,050 x 2,060 x 3,170 mm	7,060 x 2,060 x 3,180 mm
GVW	6,955 kg	7,475 kg
積載	3,000 kg	3,500 kg
バッテリー交換ステーションの開発		
開発企業	JFE エンジニアリング(株)	
収納可能バッテリー個数	最大 10 個	
充電出力	20kW×2系統	
再生可能エネルギーとの連系	ステーション屋根上に 2.8kW 程度の太陽光パネルを設置	
バッテリーパックの開発		
開発企業	(株)エッチ・ケー・エス	
登録商標名(申請中)	ExCVB *Exchangeable Commercial Vehicle Battery の略称	
L x W x H	1,085 × 1,077 × 286 mm	
バッテリーパック重量	約 310kg	
バッテリーパック電圧 / 容量	350 - 400V / 40kWh	
配送実証概要		
実証期間	令和 4 年度 11 月～令和 6 年度末 (予定)	
車両運行者	(株)サンファミリー	
配送ルート	ファミリーマート三郷中央定温センター～ ファミリーマート各店舗(埼玉県三郷市/八潮市)	
貨物温度	3-8℃ / 18-22℃(2室2温度帯)	
交換ステーション設置場所	ファミリーマート 三郷中央定温センター	
便数	3 便/日	
車両台数	2 台	
バッテリーパック個数	ExCVB 40kWh × 6 個(当面)	
ステーション数	1 基	

<バッテリー交換ステーションとバッテリーパック（リリース撮影用写真）>



<バッテリー交換式小型 EVトラックと太陽光パネル>



<バッテリー交換ステーションにてバッテリーパック（キャブと架装の間）を交換中>

